

# ORIRO 緩降機 収納方法

Storing Method of ORIRO Descent Device

**1** ORIRO 緩降機の名前を確認してください。  
Check each component name of ORIRO Descent Device.

**2** 着用具(A)のベルトの一部と、調整ばねの一部を重ねて図のように右手で握ります。  
As shown in the figure, hold a part of the belt of wearing harness (A) and a part of the body adjustment spring together with your right hand.

**3** 左手でリールを支えながら、リール芯のベルト掛に図の矢印部分を通します。  
Supporting the reel with your left hand, pass the arrowed area shown in the figure through the belt hook on the reel core.

**4** リールを矢印方向に回転しながら手に持っているベルトを手前に引き締めます。  
Turning the reel in the arrowed direction, pull the belt in your hand towards you to tighten it.

**5** リールを矢印方向に回転しながらロープを手前に引き締めるように巻き付けます。  
Turning the reel in the arrowed direction, wind the rope on the reel tightly while pulling the rope towards you.

**6** 着用具(B)のベルト部と、調整ばね部を重ねて、ロープが巻き終わった上に押し込むように納めます。  
Lay the belt of wearing harness (B) on the body adjustment spring of the same and place them on the wound rope by pushing them in.

**7** 最後のベルト部を締めるように持ちます。  
Hold the belt end so as to tighten in.

**8** 调速器と合わせながら緩降機格納箱に納めます。  
Replace them together with the speed regulator into the storage case.

**9** 蓋を閉めて一定の場所に保管してください。  
Close the cover and keep the case at the predetermined place.

このたびは、ORIROの緩降機をご利用いただきまして誠にありがとうございました。

- ご入居されましたら、まず緩降機が設置されている場所をご確認ください。
- お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- 万一に備えて、この取扱説明書は大切に保管してください。

## 取扱上の注意

お使いになる人への危害を未然に防止するため、お守りいただくことを、説明します。表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

- 危険** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容を示します。
- 警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。
- 注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物理的障害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。



# ORIRO 緩降機 取扱説明書

緩降機とは降下速度を一定の範囲に調整されたもので、使用者が他人の力を借りずに自重で降下でき、つるべ式に一人ずつ交互に何人でも安全に避難できる避難器具です。



お問い合わせは……

ORIRO オリロー株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山 4-25-6

URL : <https://www.oriro.co.jp> e-mail : [oriro@oriro.co.jp](mailto:oriro@oriro.co.jp)

札幌支店	〒060-0008	北海道札幌市中央区北8条西24-1-3 TEL. 011-640-7744 FAX. 011-615-8299
東北支店	〒983-0043	宮城県仙台市宮城野区萩野町1-16-6 TEL. 022-208-7744 FAX. 022-208-7747
北関東支店	〒350-2201	埼玉県鶴ヶ島市富士見4-28-35 アークパレス1F TEL. 049-279-7744 FAX. 049-279-7745
東京支店	〒112-0001	東京都文京区白山4-25-6 TEL. 03-3814-7744 FAX. 03-3813-2909
横浜支店	〒232-0061	神奈川県横浜市南区大岡2-17-24 TEL. 045-277-7744 FAX. 045-277-7745
名古屋支店	〒454-0921	愛知県名古屋市中川区中郷3-383 TEL. 052-352-7744 FAX. 052-352-7775
大阪支店	〒552-0007	大阪府大阪市港区弁天2-14-24 TEL. 06-6572-7744 FAX. 06-6574-2994
九州支店	〒815-0031	福岡県福岡市南区清水3-9-21 TEL. 092-551-7744 FAX. 092-511-6555
新潟営業所	〒959-0227	新潟県燕市粟生津山王724 TEL. 0256-92-7744 FAX. 0256-92-4949
千葉営業所	〒273-0033	千葉県船橋市本郷町 421-2 大塚ビル 1F TEL. 047-311-4470 FAX. 047-311-4474
メンテナンス部	〒112-0001	東京都文京区白山5-1-3-7F TEL. 03-3815-7744 FAX. 03-3815-7745

●本製品は予告なく変更することがあります



2023.10 改訂版



国家検定合格品

型式承認番号

ORIROIII 降第28~1号  
ORIROII 降第22~1号

# ORIRO 緩降機

## 正しい使用方法

下記の手順で正しい操作を行ってください。

- 1** 緩降機の側面に付いているラッチ錠を外し上蓋を開けてください。

※屋外の緩降機屋外格納箱に収納されている場合は、そこから取り出し上記の操作を行ってください。



- 2** フックを持ち、調速器とリールを合わせて取り出してください。



- 3** 取付金具に調速器を取付ける。安全環(止め金具)の付いている部分に指を掛け内側に曲げ口を開け、取付金具アーム先端の吊環に掛けてください。指を離すと内蔵されているスプリングの力で元に戻ります。安全環を右に回して、締めてください。

**注意** 吊環に掛ける時、指を挟まないようご注意ください。

**危険** 安全環を確実に締めた事を確認してください。(締めないで使用すると危険です)

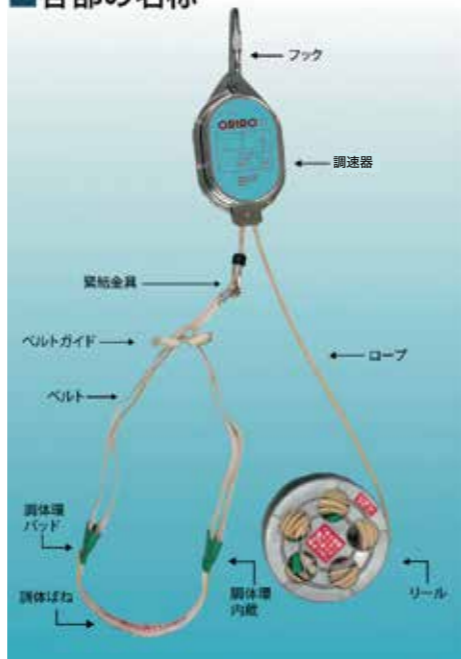


- 4** ロープの巻いてあるリールを投下します。

**注意** 地上に人がいない事を確認して投下してください。



## 各部の名称



- 5** 着用具を頭からかぶり、右図のように胴部に装着してください。

**危険** 誤って長いロープ側の着用具を装着すると墜落する危険があります。



- 6** 地上に投下しているロープと、装着した着用具側のロープを2本同時にしっかりと手で握った状態で外に出てください。



## D型(床付用) 使用方法



●緩降機屋外用格納箱の両側面のラッチ錠を開放してカバーを取り外します。各種、屋外用格納箱は同じ操作方法で取り外します。

●カバーを取り外します。

●吊環を持ってアームを外に倒すように引上げます。

●両手で取手を持ち、ストッパーが作動するまで支柱を引上げます。



●調速器のフックを吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。

●ロープの巻いてあるリールを外に投下します。

●着用具を胴部に着用し、ベルトを両手で持ち身体を後ろに倒すと、ベルトが締まります。

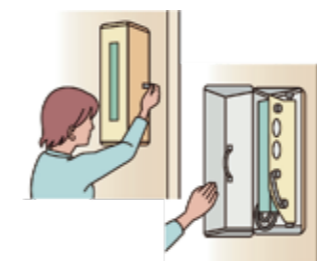
●2本のロープを持って外へ出て、身体を壁面に向けてロープを離して降下します。

●着地したら、上で待っている人のために素早く着用具を外し、安全な場所へ避難してください。

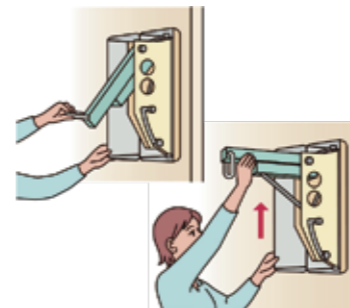
## 各種取付金具使用方法

- 取付金具が設置されている場所と機種を確認してください。
- 各機種とも絵図の説明後は、「D型」使用例「5～10」の操作手順で行なってください。

### B型



●BOXのラッチ錠を外しカバーを開けます。

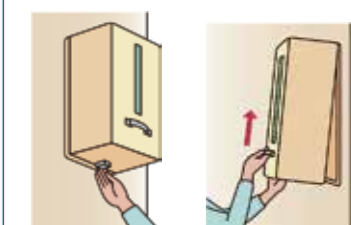


●アームの先端を持ちストッパーが作動するまで持ち上げます。



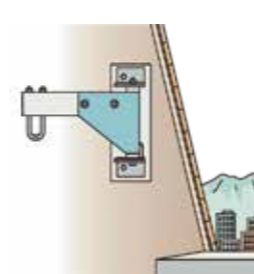
●アームの先端を外に向けて、ストッパーが作動するまで回転します。以後は「D型」の操作手順で行なってください。

### B型(ケンドン式)



●持ち上げるように手前に引き上げてカバーを外します。以後は「B型」と「D型」の操作手順で行なってください。

### C型



●アームの先端を外に向けて、ストッパーが作動するまで回転します。以後は「D型」の操作手順で行なってください。

### 屋外(固定式)



●調速器のフックを吊環に掛け安全環を確実に締めて確認します。以後は「D型」の操作手順で行なってください。

### 屋外(回転式)



●調速器のフックを吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。



●アームの先端を外に向けて、ストッパーが作動するまで回転します。以後は「D型」の操作手順で行なってください。

### LE型

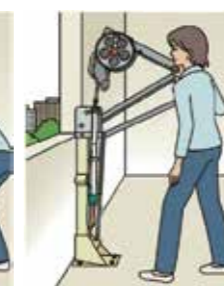


●調速器のフックを吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。以後は「D型」の操作手順で行なってください。

### D1型(一動作式)



●取手を持ち、ストッパーが作動するまで持ち上げます。連動してアームと調速器が外に出ます。



●評定品はリールが自動で降下します。



●以後は、「D型」の操作手順で行なって下さい。

### DSR型



●操作は「D1型」と同じで、取手を持ち、ストッパーが作動するまで持ち上げます。



●調速器を吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。



●アームの先端を外に向けて押し出します。以後は「D型」の操作手順で行ってください。

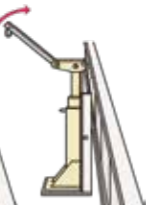
### DA型



●屋外のBOX両側面のラッチ錠を開放してカバーを取り外します。



●一段目の支柱の取手を両手で持ち、ストッパーが作動するまで引き上げます。



●二段目の支柱の取手を両手で持ち、ストッパーが作動するまで引き上げます。



●調速器を吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。以後は「D型」の操作手順で行なってください。

### DS型



●操作は「DA型」と同じで、アーム部分がスライドします。スライドハンドルでアームの先端を外に向けて押し出します。以後は「D型」の操作手順で行なってください。

### 壁付用

操作方法は、各機種と同じ操作手順で行なってください。

